

発行所 広島県自治体労働組合総連合

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目2-27中央レジデンス405号

TEL 082-243-9240/E-mail hjrouren@urban.ne.jp

FAX 082-243-9241/ホームページ http://urban.ne.jp/home/hjrouren/

編集・発行 広島自治労連教育宣伝部

定価 1部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています

自治労連共済学校 2025春の組織集會 開催!



組合の成果・必要性
を伝えよう!



共済の魅力を知ろう!



自治労連共済
樫尾専務理事

仲間とつながろう!

共済学校・春の組織集會での講演・報告、グループワークの様子

午後からの春の組織集會には会場・オンライン合わせて44名が参加。実践報告では、非正規連絡会ヒロシマ代表・平松ゆう子さんより、会計年度任用職員制度を経て今日に至るまでの組合活動の成果が、現在の基本報酬や一時金の獲得・休暇制度の充実等に繋がっているとお話がありました。

組合活動の成果が 今に繋がっている

「共済活動は、労働組合の基本的役割である組合員の生活を守る福利厚生活動の一つである」というお話に始まり、安い掛金で幅広い保障が可能な支え合いの共済活動の魅力を学ぶことができました。

共済は 組合活動のベース!

1月26日(日)広島自治労連共済学校・2025春の組織集會がTKP広島本通駅前カンファレンスセンターにてオンライン併用で開催されました。



↑大勢の参加者が楽しく交流する様子

広島自治労連組織部長・木下克己さんから、共済や賃上げなどの経済的メリットの他に、過労死やハラスメント等の労働問題に対して組合が運動で勝ち取ってきた成果を知り、未加入者へ組合の必要性を伝える工夫もいるとお話がありました。講演や報告を聞いて学ぶだけでなく参加者同士が理解や交流を深めるワークもあり、大変実りある一日となりました。

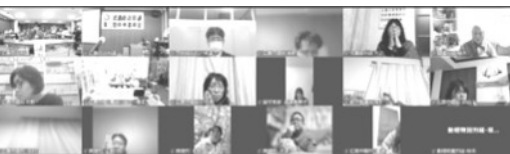
組合の必要性を 幅広く伝えよう

「共済活動は、労働組合の基本的役割である組合員の生活を守る福利厚生活動の一つである」というお話に始まり、安い掛金で幅広い保障が可能な支え合いの共済活動の魅力を学ぶことができました。

不断の運動と 普段のつながりが カギに!



写真上:会場参加者/写真下:オンライン参加者



2月6日(木)、広島自治労連第70回中央委員会をロードビルからオンライン併用で開催、代議員30名・傍聴者4名・執行部で52名が出席しました。

広島自治 労連第70 回中央委 員会

誰もが生活改善につながる大幅賃上げを 仲間を増やし、憲法・いのち・人権を守る社会へ

中石執行委員長は、官民一体の春闘で、秋の交渉で公務公共の大幅賃上げを実現を、住民の福祉増進のため組合を大きくしようと呼びかけました。

浜崎書記長が活動報告、春闘方針案、参議院選挙闘争方針を提案。今年「被爆80年」をはじめ、ジェンダー平等や災害対策等についても節目の年で、日本国憲法通りの社会に改善されているか考えよう。日米の人権無視の政治を変えなければならぬ、25春闘は全組合員が何かの行動に参加し、春闘を盛り上げようと呼びかけました。

行動提起では木下組織部長が、組合が長きにわたる賃上げを要求し続けた結果が賃上げの実現になったことを伝え、加入を進めようと呼びかけました。討論では13名が発言。処遇改善で脱退・退職が減少、住民や職員、組合に知らせず行われた勤務時間や施設内容の変更等に闘う決意を述べました。執行部から、住民・職員・組合軽視をさせず、安心して働ける職場に働き続けられる職場に変えていこうと訴え、全ての議案は採択され終了しました。

新連載スタート! 第33回 非正規ではたらくなかまの全国交流集會in広島 1.被爆80年、今すぐ「核兵器の廃絶」と 「貧困と格差の無い社会」の実現へヒロシマから声を上げよう!

2025年6月7日(土)〜8日(日)に全労連「非正規センター主催「第33回非正規ではたらくなかまの全国交流集會」が広島で開催されます。公務・民間を問わず、労働組合の取り組みで実現された非正規労働者の待遇改善や、改善に向けたたたかひの報告、労働法制や年収の壁など、時勢に合う学習をします。そして、集会で学んだことを確信に、それぞれの地域や単組でこれからはがんばろうと励まし合う場です。

2025年6月7・8日は「非正規ではたらくなかまの全国交流集會」へ

今年、被爆80年のヒロシマで開催されることから、『貧困と格差のない社会』の実現をテーマに、現在、詳細をテーマに、で検討中です。ぜひみなさん、参加と集會へのご協力をお願いいたします。

広島自治労連連続学習会 「聞いて 知って 私たちの仕事」開催！ 第5回♪ 子どもと保護者へ両輪の支援



広島市留守家庭子ども会 労組 下村執行委員長

1月16日(木)広島自治労連からオンライン併用で、連続学習会「聞いて、知って、私たちの仕事」の第5回目を開催し、会場14名、オンライン26名が参加しました。

は、放課後児童クラブとして、6年生まで受け入れができること、単なるこどもの預かりだけではなく室内イベントや屋外活動も行う幅広い仕事であると紹介。少子化にも関わらず、常にこどもがいっぱいで、働く保護者が増えていること、外国ルーツの子どもや要支援の子どもも増えていることなど社会の変化に対応しながら、日々の子どもの様子から成長していく姿が見えることがやりにやりに繋がっていると感じました。



広島市職労児童総合相談センター 山崎支部長

広島市職労児童総合相談センター・北広島支部長が、「くすのき園」でのお仕事を紹介。園では、知的障害児対象の毎日通園のクラスと、発達障害児対象のクラスがあり、発達に課題があつたり、障害のある子どもたちが集団生活や社会的自立ができるように

支援。遊びの支援で「ぐりとぐら」の絵本を1年かけて読み深める取り組みの中で、椎茸の収穫体験も企画。生活支援は楽しいことではないからこそ、子どもが主体性をもって取り組めるように支援。わが子の障害と向き合わなければいけない保護者へも目を向け、保護者同士のつながりや地域との連携も大事にしています。どちらの職場も「こどもに対する支援」「保護者に対する支援」の両輪を意識し働く姿が印象的でした。

「女性差別撤廃条約」批准から40年

取り残される日本政府

日本は、1985年に女性差別撤廃条約を批准しています。この条約は、男女の完全な平等の達成に貢献することを目的としています。そして、CEDAW(国連女性差別撤廃委員会)は、この条約の履行を監視し、45年毎に締約国政府に審議報告を行っており、直近では昨年10月に行われました。

その内容について、1月17日(金)午後、日本婦人団体連合会が「CEDAW第9回日本報告審議・報告集」と題してオンライン併用で開催し、7団体から報告と見解が述べられました。

各団体は、英語によるレポート作成、旅費を確保する取り組み、レポートがCEDAWの総括所見に反映された内容等について報告しました。CEDAWからは、選定議定書の批准、選択夫婦別姓制度の導入、男女賃金格差の解消のため同一労働同一賃金の原則を有効に実施することなど、多岐にわたる勧告がなされました。

第33回自治体非正規・公共関係労働者全国交流集会



発言する三宅一生副執行委員長

開会あいさつでは、非正規公共評の近藤副議長が、この1年間で8つの組合が結成されたことに触れ、非正規公共評の3Tアクションが実を結んでいると

2月1日(土)〜2日(日)、第33回自治体非正規・公務公共関係労働者全国交流集会が東京林野会館を会場にオンライン併用で開催されました。

単組結成へ 3Tアクションが 広島から関連連絡会の闘いを報告

その後の基調報告でも、現状の課題や運動方針が提言されました。基調報告後の発言では12名の発言者が登場。広島からも広島自

触れました。ミニ学習会では「国民春闘とは何か」をテーマに「春闘とは？」という根本から始まり、春闘の歴史や現在の社会状況を踏まえながら、春闘の意義について学びました。

2日目は分科会として、模擬団交を日玉に、そのほか会計年度や指定管理を学ぶ講座や、職種別の交流会を展開しました。



2024年夏、全国の自治労連の仲間から寄せられた折り鶴。真ん中はハート型のリースです。

広島自治労連 被爆80年企画 平和の願いを折り鶴に込めて

被爆80年の今年、広島自治労連は、組合員さんをはじめ公務公共職場で働くみなさんに、平和の願いを込めて、一人一羽の折り鶴を折っていただくことを呼びかけます。集まった折り鶴は束ねるだけでなく、なんらかの形にして奉納したいと考えています。たとえば…

- リースの形にする …丸、ハート、星型など
●ボードに貼る …モザイク調、文字、絵など
●色を合わせて束にする など

あなたのアイデア、ぜひお寄せください

思いついたアイデアは、お近くの組合役員か、広島自治労連へ FAX 082-243-9241/email hjrouren@urban.ne.jp ●3月末までにお寄せ願います。お待ちしております!!